持続可能社会の能登モデルをつくろう

里山里海アクティビティ

能登Lifeツアー

実地日2011年 4/29~5/1　http://cr.lib.kanazawa-u.activity.jp/

のと半島
里山里海アクティビティ
能登Lifeツアー報告書

実地日
04/29～5/1

参加人数
男２名　女４名

能登の暮らしを学び、都会と里山里海を結ぶ体験ツアー

４/２９～５/１　２泊３日の行程でツアーを実地。関東を中心に女性４名、男性２名の計６名が参加。里山里海文化に興味のある方々が集まった。

里山里海に関わる三つの交流

里山カントリーホームでお手伝い

珠洲市の山奥で里山暮らしをしている渡辺キャロラインさん宅を訪問。丸太運び、薪割り、丸太の皮むきなどを体験。参加者一同、和と洋の融合するキャロラインさんの里山でのライフスタイルに感動。珠洲焼釜や蜂の巣箱、鶏小屋や畑などを見学し「少しのお金でもここでは幸せに生きて行ける」というキャロラインさんの言葉に一同感心しました。

里山の原風景 金蔵 で田植え＆かかし作り

里山の原風景が残る金蔵へ。NPO金蔵学校の石崎さんを講師に迎え、雨の中田植え作業を行いました。田植えが終わると午前中に作った手作りのオリジナルかかしを設置。自分で田植えをしたことでこの地に愛着を持った参加者は「秋に稲刈りをしたい」と盛り上がりました。

使うことで輝きが増す　輪島塗講座

「輪島塗の漆器を日常で使いましょう」という活動をしている塗師の大工さん宅を訪問しました。朝市でさばいてもらった鯛を輪島塗に実際に盛りつける体験を行い、漆器に盛りつけられた里海の恵たっぷりの料理を楽しみました。食後に実際に漆器を洗う作業を行い、みなさん輪島塗の扱いやすさと、使うことで輝きの増す漆器の美しさに驚いていました。

金蔵で田植えとかかし作りを初体験する参加者

カントリーライフ体験で薪割り

輪島塗漆器を使い盛り付け

「また来たい！」

と参加した方々がお別れの際に口にした。その後も「かかしの世話お願いします」「能登の丁寧な暮らしぶりに感動。また来ます」「良い時間を過ごさせて頂いたとじわじわと感じます」などメールでご連絡を頂きました。「つながり」をテーマとした今回のツアーでしたが、少しずつ芽が出てきていると感じます。

里山里海アクティビティ｜石川県珠洲市三崎町小泊33-7｜TEL 0768-88-2528